

コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名	845 青少年健全育成事業	会計	01	一般会計
		款	10	教育費
		項	05	社会教育費
基本 施策	37 子どもたちの健やかな成長を促す	目	04	青少年育成費
		細目	441	青少年健全育成事業
行革大綱の重点事項番号		細々目	51	青少年健全育成事業
担当部課	コード 451600 名 称 教育委員会 阿山公民館	担当者 氏 名	中井日出男	連絡先 (内線) 43-0154

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	阿山地区青少年	※対象件数
成果(どうする)	あやまづくり市民会議に補助金交付することにより、阿山地区における青少年健全育成の推進を図り、研修会・講演会への参加によって地域リーダーの育成を行う。	
根拠法令・要綱等	伊賀市子ども健全育成条例	
開始年度	平成	年度 関連事業
終了年度	平成	年度
H22 事業内 容	・青少年健全育成団体である「あやまづくり市民会議」への補助金の交付 【活動内容】 ①非行防止/パトロール5回 ②青少年健全育成等の研修会2回開催 ③青少年健全育成等の講演会2回開催 ④市事業による研修会へ参加	
社会情勢 の変化等	・平成21年度から、青少年育成地域活動報償とキャンプ等指導謝礼は、公民館事業経費へ移行した。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
青少年健全育成研修会	目標	2	2	2		
	実績	2	2	2	2	2
青少年健全育成講演会	目標	2	2	2	2	2
	実績	2	2	2	2	2

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
青少年健全育成研修会参加者数	研修会への参加者数を事業成果とみなし設定する。	人	目標	380	380	370	370
			実績	165	375		
青少年健全育成講演会参加者数	講演会への参加者数を事業成果とみなし設定する。	人	目標	380	380	320	320
			実績	337	326		

投入コスト	直接事業費計(A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
Aの 財源 内訳	国庫支出金	395	395	330	330
	県支出金				
	地方債				
	その他	0	0	0	0
	一般財源	395	395	330	330
事業投入人件費(B)		0.1人	0.1人	0.1人	0.1人
フルコスト(A)+(B)		1,115	1,115	1,050	1,050

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○
	民間のサービスだけでは地域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
達成度	当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	更に関係団体等と研修会・講演会の日程調整を行い効果的な事業になるようする。
	【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	
効果性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	○
	全体コストにおける負担構成は適正である。	○
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況	
改善策	研修会・講演会の日程調整、各住民自治協議会、など関係団体と共催で効率のよい、効果的な事業になるよう働きかける。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 子どもたちの健全な育成を目指して、三重県教育委員会から講師を迎え、「健全育成・非行防止の取組みにおける今日の課題」と題して、委員研修会を行い情報交換を行う中で、近年の青少年を取り巻く問題について、地域ぐるみで何ができるかを話し合った。そのほか、伊賀市青少年育成市民会議と連携を取りながら、阿山支所管内を年間5回の非行防止パトロールや家庭・地域教育力向上を図った。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	中井 日出男
事業の方向性	【方向性】 現状維持
	【理由】 青少年の健全育成は、次代を担う子どもたちの見守りや声かけ運動など、地域社会と一体となった住民活動が必要不可欠である。住民主体の「あやまづくり市民会議」は青少年に関係する阿山管内の全ての団体が加盟している唯一の組織であり、行政の補完を果たしているため、今後も支援を行う必要があるため、現状維持としたい。
現時点における課題、その他	研修会・講演会の参加者が予想より少ない。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	あやまづくり市民会議の組織体制の充実をめざし、関係団体との連携を強化するほか、阿山公民館・阿山住民自治地区連合福祉部会との共催事業を実施することによりコスト削減を図る。